

東海経済レポート

（2020 年 3 月）

～弱めの動きが続くなか、先行きは新型コロナウイルスの影響が懸念される～

【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は弱めの動きが続いている。1-2 月の経済指標をみると、企業部門は、輸出の弱含みが続いているほか、生産も水準は低迷しており、設備投資も調整色が強まっている。家計部門では、個人消費が総じて足踏みを続けている。新型コロナウイルス感染拡大の影響（以下コロナ影響）は今後順次顕現化するものとみられ、指標上でも生産や輸出を中心に経済活動へのさらなる下押しが確認されていこう。
- 生産は、1 月の鉱工業生産指数が前月比+3.4%と 5 ヶ月ぶりに上昇した。業種別では、電子部品・デバイスや生産用機械が減産となったものの、当地域主力の輸送機械は 5 ヶ月ぶりに増産となった。ただ、前年比でみると、鉱工業生産全体で▲4.3%、うち輸送機械は同▲5.4%と低い水準に留まっている。
- 設備投資は、昨年 10-12 月期の大企業の投資額が前年比▲18.5%と大幅な減少となった。製造業が同▲24.9%と 2 桁マイナスとなったほか、非製造業も減少幅を拡大させた。金属工作機械の受注額では、1 月の当地区主要 8 社の国内受注額が前年比▲32.6%と 14 ヶ月連続で減少し、2013 年 5 月以来となる低水準となった。
- 輸出額(円ベース)は、2 月が前年比▲8.2%と 7 ヶ月連続の減少となった。米国向けが同▲19.6%、EU 向けも同▲15.6%と大きく減少したが、中国向けはコロナ影響より春節反動増が大きく同+6.7%と 12 ヶ月ぶりに増加した。品目別では、当地域主力の自動車と同▲13.1%、自動車部品も同▲6.0%など、総じてマイナスとなった。
- 1 月の有効求人倍率は、愛知、岐阜、三重、静岡の 4 県揃って低下となった。2019 年春頃をピークとした低下基調が続いているが、1 月は愛知県が前月比▲0.13 倍、岐阜県で同▲0.11 倍となるなど、コロナ影響とみられる低下幅拡大が観察された。
- 個人消費関連では、1 月の小売主要 3 業態の販売額は前年比▲0.4%と 2 ヶ月連続でマイナスとなった。業態別ではスーパーが同+0.3%と 2 ヶ月ぶりにプラスとなったものの、百貨店が同▲2.9%と昨年 10 月以降マイナスが続いている上、コンビニも同▲0.1%と 2 ヶ月連続の減少となった。また、1 月の新車販売台数は同▲15.5%と、4 ヶ月連続で減少し、縮小基調にあったマイナス幅も再び拡大した。2 月の景気ウォッチャー調査は、現状判断 DI が 26.5、前月比▲15.1 とコロナ影響が如実に現れた。
- 住宅着工戸数は、1 月が年率換算 7.4 万戸、前年比▲3.5%と 2 ヶ月連続の減少となった。用途別では、貸家が同+15.7%と 8 ヶ月ぶりに増加に転じたものの、持ち家、分譲マンション、分譲戸建てが揃ってマイナスとなり、全体を押し下げた。

【生産①】

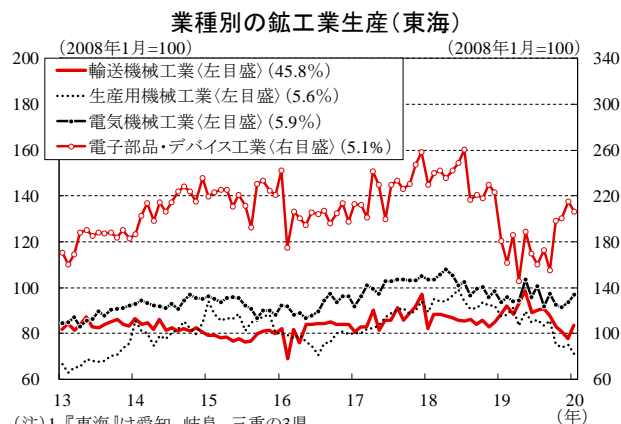
1月の鉱工業生産指数は前月比+3.4%と、5ヵ月ぶりの上昇。



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【生産②】

電子部品・デバイスや生産用機械等は前月比減産となったが、輸送機械や電気機械が増産となった。

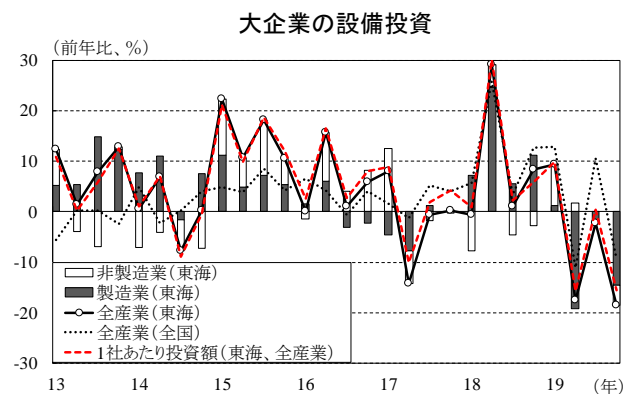


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準)。
中部経済産業局算出

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

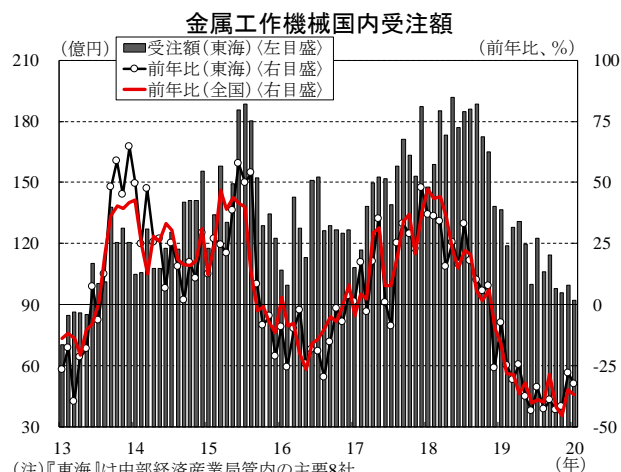
昨年10-12月期の大企業の設備投資は前年比▲18.5%の減少。製造業は同▲24.9%と大きく減少。



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2.資本金10億円以上の企業を対象。
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
4.1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

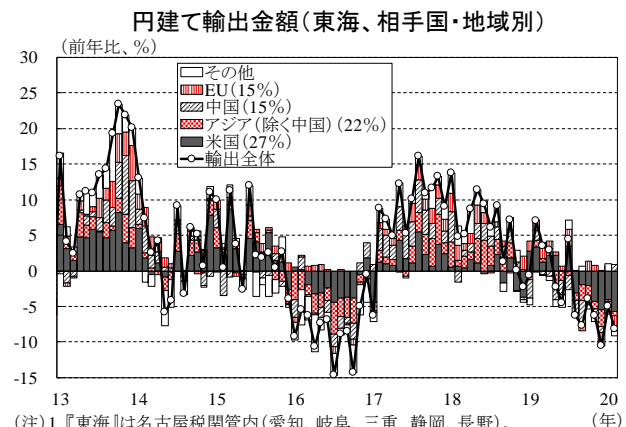
金属工作機械の国内受注額(当地区内の主要8社)は1月に前年比▲32.6%と、14ヵ月連続の減少。



(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

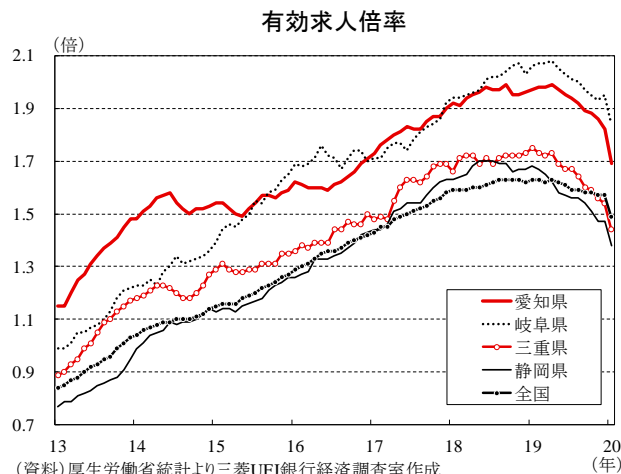
2月の輸出額(円ベース)は前年比▲8.2%と7ヵ月連続で減少。米国、EU向けが揃って2桁の減少。



(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2.()内の数値は2019年輸出総額に占めるシェア。
3.EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

1月の有効求人倍率は、愛知、岐阜、三重、静岡の4県揃って低下。低下幅も各県ともに拡大となった。

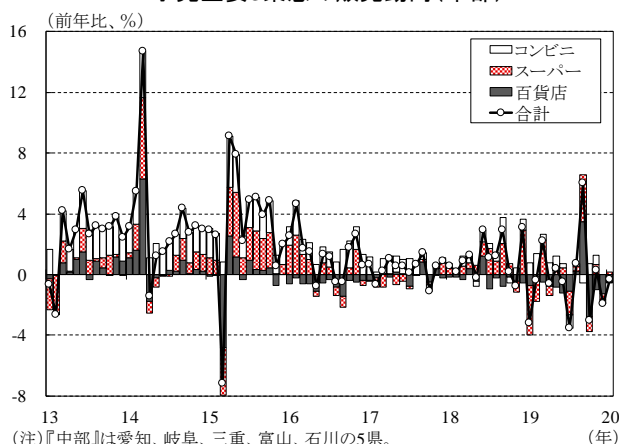


(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費】

1月の小売主要3業態の販売額は前年比▲0.4%と、2ヵ月連続の減少。マイナス幅は12月から縮小。

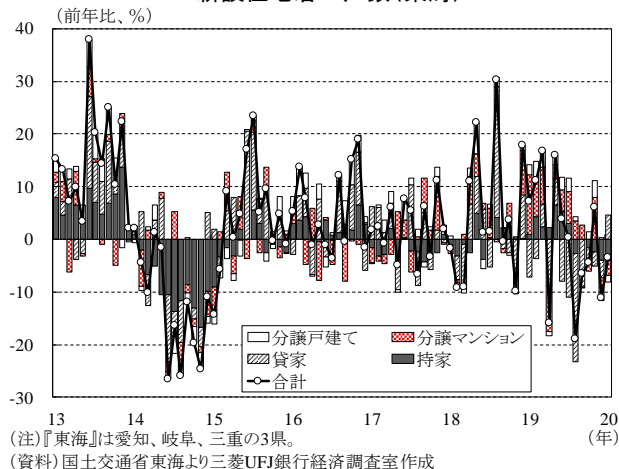
小売主要3業態の販売動向(中部)



【住宅投資】

1月の住宅着工戸数は前年比▲3.5%と、2ヵ月連続の減少。貸家を除きマイナスとなった。

新設住宅着工戸数(東海)



【景気ウォッチャー調査】

2月の現状判断DIは26.5と、2009年2月以来となる水準まで大幅に低下。全国比でも低位となった。

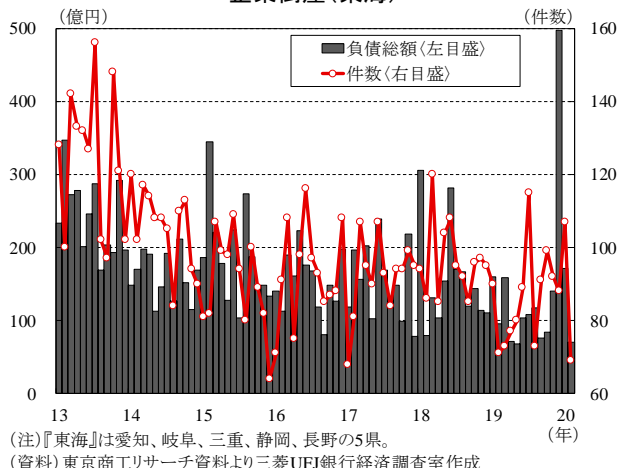
景気現状判断DI



【倒産件数】

2月の企業倒産件数は69件で、前年比▲2.8%の減少。負債総額は71億円で、同▲25.9%の減少。

企業倒産(東海)



【原油価格】

WTIは、協調減産協議の決裂、新型コロナウイルスの感染拡大等を受け、1バレル20ドル台前半まで下落。

原油価格



【円相場・株価】

世界的にリスク回避姿勢が強まり、株価は大幅下落。手元ドル資金確保の需要強く、為替は円安へ。

円相場・株価



照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。